

学校教育目標：よりよく生きぬく力《たくましい子・考える子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO8
令和5年 10月31日(火)
校長 山田 隆二

コミスクの取組が盛んに実施されています。

10月もコミスクの取組で子供たちは、本当に楽しい思いをしています。もちろん、学校の教職員も指導をしますが、より個に応じた指導になるためには、ゲストティーチャーが大勢いてくだされば、そんなありがたいことはありません。高学年のミシンの使い方では「瑞浪更生保護女性の会」のみなさんが一人一人に声をかけながら、丁寧にご支援いただきました。おかげで、子供たちが自分の力でミシンを使えるようになりました。子供たちがつまずくのは授業の中でほぼ同時であることから、「複数の先生」がいてくださることが子供たちにとって大変安心できることです。



3年生の和太鼓の学習では、釜戸青龍のみなさんにご指導いただきました。発表の場を「釜戸町文化祭」としていただき、子供たちには「学んだ和太鼓を披露する」という目的意識を明確にして取り組みました。熱いご指導の賜物で、当日、子供たちは堂々と歌いながら太鼓をたたくことができました。最後の最後(リハーサルも本番も)まで面倒を見ていただき、声をかけて、やる気にさせてくださったことから「釜戸小校区の子は、釜戸校区で育てる!」という強い思いが伝わってきました。

6年生の「太古のふるさと(パレオパラドキシア)」の授業では、化石博物館の安藤さんをお招きし、引き寄せられる語り口調で楽しく、わかりやすく説明してくださいました。専門家ならではの「本物」から学ぶ授業でした。「世界的な発見がこの釜戸から」という熱のこもった話しぶりは専門家にしかできないこととあらためて感じ感謝しました。

3年生・6年生の「大湫宿の見学」では、大湫のボランティアガイドさんによる説明がありました。90歳を超える方のしっかりとした口調、そして目線子供たちまでさげて説明して下さったことに対して、子供たちも前のめりになって聞き入っていました。これも釜戸小の子供たちのために継続して担ってくださっている成果ではないかと思いました。**※これ以外にも、スナッグゴルフや地域探検等多くの取組があります。ホームページで紹介させていただいております。**

今年度のコミスクの目標は、2つあります。1つ目は「ふるさと(釜戸小校区～瑞浪市へ目を向け)よいところを見つけよう」です。これは、よい場所(史跡や自然等)を知ったり、見つけたりすることも大切ですが、釜戸(瑞浪)には、こんな人たちがいてくださり、自分たちを応援して下さっているという「よさ」を実感することも目標です。

また、2つ目の目標は、『「ありがとう」を伝えよう』です。単に自分たちのために時間を費やして下さってありがとうだけではなく、子供たちが「ありがとう」と思ったわけをいろいろな面から考えたり、そこで学んだことを振り返って感謝の手紙を書いたりすることによって、本当の「ありがとう」を実感できるものと考えます。そして、子供が家に帰ったとき「今日〇〇の授業で、〇〇〇さんに～を教えてもらったよ」という話から、「それはよかったねえ。どんなことが楽しかったの?」「どうやってやるの?と教わったの?」というやりとりが子供たちと保護者さんの間で行われることを大事にしたいと思います。そのことにより、学校で子供たちがコミスクの取組により、楽しく力を付けている様子を理解していただけるものと思います。今後、計画されている取組もまだまだあります。是非、家で団らんの話題にさせていただきたいと思います。ところで、子供たちは家でコミスクの話しますか? **※釜戸小学校ホームページをごらんください。子供たちの様子を写真付で載せてあります。そのことをきっかけにコミュニケーションをお願いします。☆スマホ/インターネット検索/釜戸小学校(をクリック)/スクールニュース/ブログ一覧/「記事を読む」をクリックすると記事と写真が見られます。**